

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】令和 3 年 7 月 26 日 (2021.7.26)

【公開番号】特開 2019-106695 (P2019-106695A)
 【公開日】令和 1 年 6 月 27 日 (2019.6.27)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-025
 【出願番号】特願 2018-89229 (P2018-89229)
 【国際特許分類】

H 0 4 N 21/2387 (2011.01)

H 0 4 N 21/258 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 21/2387

H 0 4 N 21/258

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 6 月 4 日 (2021.6.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

サーバであって、

第 1 のユーザを識別する第 1 のユーザ識別情報を用いてコンテンツ共有サービスにログインしている第 1 の端末において、生配信中の第 1 のコンテンツの視聴が中断された場合に、当該第 1 のコンテンツを識別する第 1 のコンテンツ識別情報と当該第 1 のコンテンツの視聴中断地点を示す第 1 の中断地点情報とが前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて保存される記憶部と、

(a) 前記第 1 の端末において前記第 1 のコンテンツの視聴が中断された後、前記第 1 のユーザ識別情報を用いて前記コンテンツ共有サービスにログインしている第 2 の端末から前記サーバへのアクセスがあった場合に、前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けられたコンテンツ識別情報および中断地点情報の少なくとも一方が前記記憶部に保存されているか否かを判定し、(b) 前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方が前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されていると判定した場合には、さらに、前記第 1 のコンテンツの生配信が終了しているか否かを判定した判定結果により前記第 2 の端末への通知の種類を判定する判定部と、

を具備する、サーバ。

【請求項 2】

前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方が前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されていて、かつ、前記第 1 のコンテンツの生配信が終了していると判定された場合には、前記判定部は、タイムシフト再生により前記視聴中断地点から前記第 1 のコンテンツを視聴再開できることを前記第 2 の端末への通知とする、請求項 1 に記載のサーバ。

【請求項 3】

前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方が前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されていて、かつ、前記第 1 のコンテンツの生配信が終了していないと判定された場合には、前記判定部は、前記第 1 のコンテンツが生配信で視聴できることを前記第 2 の端末への通知とする、請求項 1 に記載のサーバ。

バ。

【請求項 4】

前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方が前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されていて、かつ、前記第 1 のコンテンツの生配信が終了していないと判定された場合には、前記判定部は、タイムシフト再生により前記視聴中断地点から前記第 1 のコンテンツを視聴再開できることと、前記第 1 のコンテンツが生配信で視聴できることを前記第 2 の端末への通知とする、請求項 1 記載のサーバ。

【請求項 5】

前記第 1 の端末において生配信中の前記第 1 のコンテンツの視聴が中断された場合に、前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方に加えて前記第 1 の端末を識別する第 1 の端末識別情報が前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存され、

前記判定部は、前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方が前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されていると判定した場合には、さらに、前記第 1 の端末識別情報が前記第 2 の端末を識別する第 2 の端末識別情報に一致するか否かを判定する、

請求項 1 乃至請求項 4 のいずれか 1 項に記載のサーバ。

【請求項 6】

前記第 1 の端末識別情報が前記第 2 の端末識別情報に一致すると判定され、かつ、前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方と、前記第 1 の端末識別情報とが前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されてから前記サーバへのアクセスがなされるまでの経過時間が閾値未満である場合に、前記通知部は、前記第 2 の端末への通知を省略する、請求項 5 に記載のサーバ。

【請求項 7】

コンピュータを、

第 1 のユーザを識別する第 1 のユーザ識別情報を用いてコンテンツ共有サービスにログインしている第 1 の端末において、生配信中の第 1 のコンテンツの視聴が中断された場合に、当該第 1 のコンテンツを識別する第 1 のコンテンツ識別情報と当該第 1 のコンテンツの視聴中断地点を示す第 1 の中断地点情報とを前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて記憶部に保存する手段、

(a) 前記第 1 の端末において前記第 1 のコンテンツの視聴が中断された後、前記第 1 のユーザ識別情報を用いて前記コンテンツ共有サービスにログインしている第 2 の端末から前記コンピュータへのアクセスがあった場合に、前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けられたコンテンツ識別情報および中断地点情報の少なくとも一方が前記記憶部に保存されているか否かを判定し、(b) 前記第 1 のコンテンツ識別情報および前記第 1 の中断地点情報の少なくとも一方が前記第 1 のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されていると判定した場合には、さらに、前記第 1 のコンテンツの生配信が終了しているか否かを判定した判定結果により前記第 2 の端末への通知の種類を判定する手段、

として機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本発明の一態様によれば、サーバであって、第 1 のユーザを識別する第 1 のユーザ識別情報を用いてコンテンツ共有サービスにログインしている第 1 の端末において、生配信中の第 1 のコンテンツの視聴が中断された場合に、当該第 1 のコンテンツを識別する第 1 のコンテンツ識別情報と当該第 1 のコンテンツの視聴中断地点を示す第 1 の中断地点情報と

が前記第1のユーザ識別情報に関連付けて保存される記憶部と、(a)前記第1の端末において前記第1のコンテンツの視聴が中断された後、前記第1のユーザ識別情報を用いて前記コンテンツ共有サービスにログインしている第2の端末から前記サーバへのアクセスがあった場合に、前記第1のユーザ識別情報に関連付けられたコンテンツ識別情報および中断地点情報の少なくとも一方が前記記憶部に保存されているか否かを判定し、(b)前記第1のコンテンツ識別情報および前記第1の中断地点情報の少なくとも一方が前記第1のユーザ識別情報に関連付けて前記記憶部に保存されていると判定した場合には、さらに、前記第1のコンテンツの生配信が終了しているか否かを判定した判定結果により前記第2の端末への通知の種類を判定する判定部と、を具備する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】